

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度国際ロータリーテーマ

第1706回例会

令和4年4月7日 (12:30～13:30)

○ソング

- 国歌 (君が代) ●奉仕の理想

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長 (富永パスト会長、薬剤師ならではの卓話ありがとうございました。車田次年度幹事、幹事代行ありがとうございました。)
- 金田昇会員 (いよいよ週末がIMです。連日の準備ご苦労様です。富永さん卓話ありがとうございます。)
- 吉田充会員 (いよいよ明後日インターシティミーティングです。会員の皆様のご協力で、ぜひ成功させていただけますようお願いいたします。)
- 富永章会員 (本日はつたない卓話お聞きいただきましてありがとうございます御座います。)
- 永野文雄会員 (今日は暖かくなりましたね。富永パスト会長さん卓話ありがとうございます。)
- 中目公英会員 (本日配布のガバナー月信4月号には、「第40回ライラ研修会」の報告が掲載されています。我がクラブから2530地区のライラ委員会委員長へ出向させていただき、そのお役目を果たしました。よろしければご一読下さい。)
- 宮本多可夫会員 (今月は、誕生日・結婚記念日のダブルのお祝いをいただきありがとうございました。又富永章様卓話ありがとうございました。)



4月10日(日)

コザRCの皆さん 藤田記念博物館へ

▶第1706回例会出席状況 (R4年4月7日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	11名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓔ ②の出席者数	29名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
Ⓕ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓔ)	62
Ⓖ = Ⓖ / Ⓕ × 100 (例会出席率)	64.5%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



鈴木孝幸会長

皆さん、こんにちは。今日もお忙しい中、例会に参加していただきまして誠にありがとうございます。コロナワクチンの接種も徐々ではありますが進む中、今日の食事は久しぶりにお弁当形式から通常の食事に戻させていただきましたところではありましたが、今朝の民報新聞で県内では662名の過去最大の感染者数と発表がありました。比較的、子供たちの感染が多いようではありますが、親達への感染も避けられない状況であるんだと思います。今月のロータリー月間のテーマは「母子の健康月間」ということでありますし、引き続き外部でも家庭内でも感染対策を徹底して行ってほしいと思っています。さて、昨日の新聞で地震で被害が遭った東北新幹線の福島～仙台間の修繕が目途が立って新幹線の全線開通が、以前は20日というふうにアナウンスをされたところが、14日というふうに発表になりました。先月3月16日に起きた地震から、一か月弱でとりあえず全線開通ということですが、皆さんこの復旧スピードについてどう思いますか。遅いでしょうか、早いでしょうか。私は異常に早いなと思っております。今回は、新幹線の復旧、日本のインフラの大動脈であるこの東北新幹線の復旧についてちょっとだけお話ししたいと思います。皆さんもテレビやネットで新幹線の橋脚の根っこ、コンクリートがばらばらに砕け、中の鉄筋が露出している映像をご覧になっていることと思います。建築の構造に関する私の立場からすると、あの壊れ方は本当に尋常の壊れ方じゃありません。座屈破壊といって、コンクリートが上から圧縮力で潰されるほどの応力を受けた結果であります。設計想定を大きく超えた荷重がかかったんだと思われま。通常、建築の基礎の柱、これは土木構造物ですけども、建築の柱は基礎でもそうですけども、あそこまで壊れるとまず見えない部分の基礎とか、まず基礎下にある杭ですね。杭まで破壊の可能性が高いということで、そこらへんの疑いも持ってかからないといけません。復旧のスピードが異常に早い、先ほど言いましたけども、通常あそこまでの破壊の復旧には、まず現地調査で目視調査から始まりまして、地中の調査のため基礎の破壊がないか、場合によっては掘り起こして確認します。その後、地中で杭の破壊が途中で座屈してないかということを超音波をかけて測ったり、補強のためにそれと並んで構造検討を進めたり、それと改修するために工事の施工計画書を立てて、構造検討の結果をもとに橋脚の改修復旧工事の施工の資材手配、そして重機の手配、橋脚があそこまで縮んで座屈してるとなると、橋げたの方を持ち上げるというのはジャッキアップの仮設工事も考えなきゃいけないですし、場合によっては橋脚が動いているので橋脚の作り直しですね、修繕補強。そういうものもすべて、場合によっては橋脚を架け替える。橋を架け替えるということも考えなければいけない工程で

あります。そんなふうな予想される復旧工程の日程ですから、私的には最低本当に応急処置の3ヶ月は新幹線の再開はないというふうに思っておりました。とりあえず新幹線がゆっくりでも走れるようにということで、修繕は後回しと考えても信じられないくらいのスピードでの復旧だと思えます。日本の大動脈のインフラの復旧ですから、超本気モードで復旧したんだと思えます。まだまだ、日本の土木技術は捨てたものじゃないなと思った瞬間でありました。過去にお隣の中国で確か2011年頃だったと思いますが、同じ高速鉄道の新幹線が脱線しまして、これ追突による脱線だったと記憶しているんですけども。その時には、中国の国の面子に関わる問題ということで、すぐにその証拠隠滅ということで車両を現場のすぐ下に埋めるという光景を皆さん覚えているかと思えます。全く違いますが、今回はさすが日本と感じさせていただいたのでお話をさせていただきました。新聞によりますと、今後しばらくは仙台～一ノ関間は120キロの徐行運転をするということなので、完全な修繕が終わったことではないと思えますけども、今後細かな部分、破壊した部分を次々に修正していくことだろうと思えます。今後100年、このような東日本大震災の余震が続くと予想されていますので、しっかりとした修繕と対策で旅の安全を確保してもらいたいと思っています。インフラの話についてももう一つ地元ネタなんですけども、皆さん国道289号線の甲子トンネルはご存知でしょうか。甲子峠のトンネルでありまして、白河から下郷に向かって走りますと、まず剣桂トンネルがあって、きびたきトンネルがあって、その後に安心坂トンネルがあって、甲子トンネルがあると思えます。あそこを走ると、確かに2か所ぐらい路面が隆起しているの皆さんわかりますでしょうか。あれ何年かかっても、何回修繕しても、インバートコンクリートを打ち直しても、そのプレキャストインバートを見直しても、全然直らずにまた持ち上がっちゃうんですね。原因はその部分にある土質に影響があって、水というのは正直ですから必ず流れ込んでくると。その水に触れるとあそこの土質は急激に膨張してしまうという土質でありまして、それを力づくでインバートを変えたりしても押さえきれないんだそうです。特別に東北大学とか日大の教授が中心になって組織する対策委員会が設立されて、その対策に臨んでいるんですけども今もなお解決が困難極まりない状況です。ああいった状況が続いているようであります。皆さん、同じその甲子トンネル境界で覚えていまして、昔、甲子峠のトンネルが開通して確か6～7年くらいで大雨が降りまして、1ヘクタール100m×100mですか、3ヘクタールですから大体大まかにいうと100m×300mぐらいの範囲で土木という円弧すべりという、地すべりに近い事故ですよ。こういうふうな、地中がずるっと回転するように動く現象で、ちょうどそこにトンネルがあったものですから、そこにあった石楠花トンネルと〇〇トンネルかちょっと忘れちゃったけども、そのトンネルが3箇所使えなくなって、もう使用停止ですね、危険ですから。あと、そのトンネルを結ぶ橋も2つ使えなくなって一時通

行止め。改めてその石楠花トンネルを迂回するように、きびたきトンネルから左側に大きく蛇行するようにトンネルを掘り直したという経緯があります。皆さん、きびたきトンネルをくぐり始めると、右側に大きいトンネルの入口がかすかに見えるのがわかりますかね。あれがそのトンネルの実は捨てられたトンネルの跡で、そのきびたきトンネルを抜けて右後ろを振り返ってみると、昔はトンネルが穴が空いていたんですが、今はコンクリートで塞いじゃったんですけども、それもやっぱり地すべりの前兆によって使えなくなったトンネルがあります。非常に見ると寂しい感じがします。甲子の289号線関連のトンネル工事というのは、話によると土木業界きっての難工事のトンネルで、優秀な日本の土木技術者もなかなか解決できないというふうなお話でありました。最後にちょっと時間が長くなっちゃったんですけども、皆さんこの東京第一ホテルの駐車場の問題には苦勞されていると思います。先日、ホテルに私ヒアリングをしまいいりました。今現在、工事まだかかっていませんが、今まで使っていたホテルの北側の駐車場は半分はカネコクリニックさんにいってしまうんですが、残りの28台分がホテル側として残るそうであります。それでは全然足りないで今、太陽光発電の工事とかでこのホテルに泊まっている方々にも働きかけて、例会のある時は是非近くの駐車場を開けてもらえるようにというふうに働きかけをホテル側からも行っているようであります。それと、近隣の駐車場についても使って券が出せるようにちょっと前向きに考えているということと、あとホテルの東側にある公園ですね。村の持ち物の公園なんですけども、そちらもちょっと後で村に働きかけて一部を駐車場として貸してくれないかということも今後検討していきたいと言っておりました。ちょっと時間が若干かかるかと思いますが、そういう状況でホテルさん側としては前向きに解決に向けて検討しているということで、もうしばらく皆さんに我慢いただくと助かると思います。ちょっと長くなりましたが、会長の時間はこれで終わります。今日はよろしくお祈りします。

■幹事報告

車田裕介副幹事



- 医療法人佐原病院理事長佐原圭 佐原圭：「佐原元先生お別れの会」のご案内について
- 地区事務所：地区補助金報告書2021-22年度実施分について

- 白河赤十字奉仕団 委員長 安澤荘一：奉仕団団員の報告について
- 全国ロータリークラブ甲子園野球大会東北連盟事務局 福島ロータリークラブ 久米充彦：全国ロータリークラブ甲子園野球大会東北地区連盟加入クラブ各位 令和4年度会費徴収のご案内
- ガバナー事務所 事務局 岡山直緒美：第7回日台親善会議福岡大会開催についてのご案内
- 国際ロータリー日本事務局 経理室：国際ロータリー日

本事務局経理室より2022年4月RIレートのお知らせ

- ガバナー志賀利彦 RLI委員会 委員長 佐藤榮郎：ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI) 第4期パートⅢのご案内
- ガバナー 志賀利彦：RLI第4期パートⅡ終了証のご送付について
- ガバナー事務所 岡山直緒美：会員増強・ロータリー情報委セミナーYouTube配信について
- ガバナー 志賀利彦：第40回RYLA研修会 参加お礼

■委員会報告

○IM実行委員会

吉田充実行委員長



皆さん、こんにちは。いよいよ今週の土曜日、IMが実施されます。今まで各委員会に分かれて準備していただき、本当にありがとうございます。いよいよ明後日なので、もう少し詰めるところもあるのかというふうには思いますが、各委員会ごとに十分に準備をしてIMを無事に成功に収めていただきたいと思います。集合場所がグランディの地下一階の式典会場というふうな形で、9時半集合というふうな形となっております。それと、お昼におにぎり等は事務局のほうで準備しておりますので、お昼は大丈夫だと思います。金田昇ガバナー補佐の旗印のもと、あと数日でございますが頑張っていたきたいと思います。

○親睦委員会

藤田和克副委員長

・結婚記念日

- 矢田部錦四郎会員、成井正之会員
- 宮本多可夫会員、居川孝男会員
- 佐藤幸彦会員、櫻岡敏之会員
- 島田修一会員、瀬谷隆志会員



・誕生日

- 関谷亮一会員、宮本多可夫会員、鳴島三夫会員
- 小林義勝会員、十文字光伸会員、緑川直人会員
- 大住由香里会員、上杉謙太郎会員



○雑誌広報委員会

大竹憂子委員長



皆さん、改めましてこんにちは。雑誌広報委員会の大竹と申します。よろしくお祈りいたします。まず、「ロータリーの友」の4月号ですが、4月は「母子の健康月間」ということで、各コーナー母子に関する

るテーマとなっています。まず、横組みの5ページですね。RI会長のメッセージのほうにも母子の健康ということを書かれていますので、是非読んでいただきたいと思えます。続きまして、7ページから特集母子の健康「育児と生理の大変さを知る」ということで、まず8ページから11ページですね。男性の育児ということ載っているんですが、なかなかここにいらっしゃる皆さんは育休を取った方というのはあまりいらっしゃらないのかなと思えますので、これからはやはり男性の方の育休取得について、やはり企業やまた上司の方の理解や進め方をこれを見てご覧になっていただいて、その必要性が感じていただけたら嬉しく思えます。続きまして、12ページから13ページのほうでは生理の困窮が今コロナ禍でいろいろ騒がれている中で、活動として生理の困窮に力を入れているロータリークラブがあり、またそこからなかなか男性では理解できない部分ですが、その生理のメカニズムですとか載っていますので是非この機会に女性の体の仕組みといいますかそういうのも理解していただいて、また男性の育休について考えていただくと嬉しく思えます。また、ここには吸水ショーツの普及ということ載っているんですが、わたくしもこれはすごく注目してまして、こういった物も子供達に知ってもらえるようになるといいのかなと思えますので、何か機会がありましたらここをご覧になっていただいて、子供たちにも教えていただくとありがたいと思えます。次ですね、14ページから「女性会員に聞きました」ということでアンケートが載ってまして、私あんまり女性じゃないのかなと思ったのは、いろいろアンケートの中身で女性会員はこんなふうと思うんだなんていうふうになっちゃってまして、男性の皆さんにもやはりこういう部分を女性会員の方は思っているということをご覧になっていただいて知っていただくとありがたいと思えます。続きまして、縦組みの4ページから8ページですね、こちらやはり母子の健康というテーマからだと思うんです。「命を頂いてつないでいくこと」ということで、助産師の内田美智子さんのお話が載ってるんですけども、なんかわたくしはこれを読んでまして本当に辛いなと思いつつ思わず読んでしまったんですけども。最初のほうは子供の命ということで、危ういものということで乳幼児の突然死症候群からずっと書いてありまして、小中学生だと第2位が自殺というの凄まじい衝撃的ですし、その後ですと今度は子供の家庭内の性虐待とかそういうのが載ってまして。また、親からの虐待ということも載ってまして、その虐待に向き合っているうちに行き着いたことが食ということで、食べることは生きること、生きるとは食べることというのがとても理解できます。縦組みの8ページの最後のほうなんですけども、すごく私が印象に残った言葉が、もう一歩進んでどんな状況であろうが、被害者だけではなく加害者にならないような人を育てることが大事っていうのがすごく心に響きました。また次の9ページからですが、こちらはカール・ベクスさんの事が載ってるんですけども、なんか読んで思ったのは私たち日本人より、すごい日本人っぽいってのはすごく

感じられて、逆にこういった外人の方から学ぶものが沢山あるなというふうな印象を受けました。それから縦組みの24ページです。こちらに以前12月19日に、第2530地区県南分区のほうで実施しました清掃活動の内容がこちらに掲載されていますので、私ちょっと用事がありまして参加できませんでしたが、参加できなかった方もこちらを見ていただくといいかなと思えます。紹介があったので、とても嬉しく思いました。以上、「ロータリーの友」の紹介を終わりにいたします。

○ゴルフ愛好会

成井正之会長



皆さん、こんにちは。いよいよですね、IMが土曜日、そして県南分区のコンペが日曜日に迫っております。それで、まず一つお伝えしておいて謝らなきゃならないのは集合時間なんですけど、私とり違えてまして一時間早くなりました。集合時間が、4月10日の午前7時20分です。開会式が30分になります。記念撮影が7時40分になっております。前の案内で一時間ほど遅かったものですから、大変申し訳ございませんでした。それと当日、ゴルフ愛好会のメンバーだけではちょっと受付とかそういうものが足りないんで、今日ケースの中に準備していただくお手伝いいただく方にコピーを入れておきました。準備班として、運天さん、前原さん、車田さん、高島さん、堀田さん。受付に、佐藤幸彦さん、青木さん、鶴丸さん、十文字さん、横田さん、お手伝いをお願いします。当日22名の当クラブからの参加がありまして、期間を見てもう一度本当は愛好会でゴルフをどこでやろうかと思ったんですが、ダブルコンペにしました。22名の参加でダブルコンペにしますんで、コンペの後の翌週、表彰式を例会の中で行いたいと思えますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

■本日のプログラム

会員卓話

○富永章会員



富永です。職業分類は、薬剤師になります。薬剤師なので、中目プログラム委員長からそれに関連した医療福祉関係に関連した卓話をやってくれというお話でございましたが、私は実は十数年前にその道から外れまして、今は全然門外漢でございまして、再三中目委員長にちょっとその話はできないねっていうふうに言ったんですが、何でもいいからやれというふうなお話だったので、老骨に鞭打ってちょっと勉強いたしまして、皆さんにお役に立てるかどうかはわかりませんが、ちょっとお話をしたいと思います。2月24日ですか、ロシアがウクライナに進攻致しまして、連日新聞それからテレビ、ワイドショー等それがメインでありまして、もちろんそれがメインなんでしょうけど、その前までは実は新型コロナウイルスの話がメインでございました。それで最近、新型コロナウイルスは終わっちゃったのかなという感がありますが、先程会

長がお話したように、福島県も662人という過去最高の感染者を出しまして、まだまだ油断できないことであります。思い起こせば2019という「COVID-19」という名前なので、思い起こせば2019年の中国の武漢で謎の肺炎というか、それが発生しまして武漢がロックダウンになり、日本政府もチャーター機を出して武漢で働いている方とか在住の方の日本への帰国をやったということ。いろんな施設に帰ってきてから退避していただいたりしてましたね。2月になると、ダイヤモンドクルーズ船、屋形船、札幌雪祭り、ライブハウスとかパチンコ屋さんとか、いろんなところがターゲットになりまして、そこでクラスターが発生して日本中が大騒ぎになったと。3月になりますと、時の安倍総理が学校の一斉休校ということで学校を休みにし、3月末には岡江久美子さんとか志村けんさんが亡くなって日本中が震撼したということ。これは大変だということで、4月から5月にかけて緊急事態宣言。その後、東京オリンピックの一年延期ですね。そんな事なんだかんだやっています、安倍総理が退陣し菅総理になり東京オリンピックに突入し、そしてその間にコロナの型もアルファからデルタになり、最近はおミクロンになってB A.2になったという、ころころコロナウイルスは変わっております。そんなわけでまだまだ油断できないし、テレビ、ラジオで専門家がおっしゃっているのは第7波まで行くのではないかと、いつになったら終わるんだろうというふうな思っております。新型コロナの世界での感染は今、大体5億人くらいで亡くなっている方が600万人。日本では700万人くらいに迫る勢いで感染者が多く、3万人くらいの方が亡くなっております。一番大きいのはアメリカで8000万人、100万人くらいに迫る死者の数で、インドは4300万人で50万人次に多い。その次はブラジル。それで先程、ちょっとお話しましたロシアとかウクライナとか、多くの避難民の方が行ってらっしゃるポーランドとかは感染者のほうはどうなっているのかなとちょっと調べてみたら、こちらはピークの10%前後でコロナはあまり流行ってないんですね。ですので戦争ができていいのか、それとも戦争しているのでコロナが流行っていないのかちょっとわからないんですが、今盛んに沢山出ているのは韓国と中国ですね。上海がロックダウンということで。あと韓国も日本の倍くらいの感染者で、かといって亡くなっている方は日本の半分くらいなんです。ですから、アジア系の方は感染してもあまり亡くなる方は少ないと、欧米よりもですね。そんな感じがしております。

感染症の歴史ということで、こちらですけど各時代に主に蔓延した感染症の種類なんです。14世紀から16世紀はペストというのがありまして、これペスト菌によって起きたわけ。大体ネズミを媒体として起こりました。当時は人口の1/3くらいが亡くなって3度の流行がありまして、14世紀から15～6世紀まで続きまして、何の原因かちょっとわからなかったということなんです。これは日本の北里柴三郎先生が19世紀にこのペスト菌というのを発見して、そのあと抗菌剤とか出てちょっと収まってきたと。最近

年	国	死者数(人)	患者数(人)
14世紀	ペスト	約1億	約1億
15世紀	ペスト	約1億	約1億
16世紀	ペスト	約1億	約1億
17世紀	コレラ	約1億	約1億
18世紀	コレラ	約1億	約1億
19世紀	コレラ	約1億	約1億
20世紀	コレラ	約1億	約1億
21世紀	コレラ	約1億	約1億

あまり聞かれないです。それから次の梅毒なんです。これは原因は性交渉によって起こるんです。それでスピロヘータという細菌で起こりまして、これがペニシリン系の抗生剤、治療薬が確率して、昭和15年1940年頃以降からは命を落とす人がいなくなってまいりました。ただ、最近若い女性を中心に2021年は7000人弱の感染者がまた増えてまいりまして、是非皆さま方も若い女性にはお気をつけただきたいと思います。次が16世紀から17世紀には流行りました天然痘ですが、これは人類が撲滅した唯一の感染症でありまして、ウイルスなんです。これは人類がこれしか感染症を撲滅したものがなくて、今でもみんな罹っている感染症と戦っているという状態です。次はコレラですけど、コレラは水の衛生環境によってコレラ菌というのでなりまして、これもワクチンとかできまして。あとは下痢をするので、水をいっぱい与えてそれで治療していくという感じ。明治の初め頃には、年間で10万人以上くらい亡くなった方がいらっやいました。次が結核ですけど、これはエックス線、それから予防接種、それから治療薬、抗結核薬ですね。こういうものができまして、昭和22年1947年の14600人くらいをピークに減りました。ただ現在はまた増えてまいりまして、こちら15000人くらいで患者さんがいらっやして、2000人くらいの方が亡くなっているということでございます。

世界と日本のスペイン風邪

スペイン風邪とは
 世界 第1波(1918年3月～) 世界人口:18億人
 第2波(1918年8月～) 患者数:5億人
 第3波(1919年1月～) 死者数:5000人～1億人
 ※当時の日本人口は5500万人

流行期間	患者数(人)	死亡者数(人)
第1期 1918年8月～1919年7月	21,168,398	257,363
第2期 1919年8月～1920年7月	2,412,097	127,666
第3期 1920年8月～1921年7月	224,178	3,698
計	23,804,673	388,727

一番今日お話ししたいことは、このスペイン風邪です。20世紀21世紀に起こりましたスペイン風邪の話の話をちょっとお話ししたいと思っております。これはちょうど100年くらい前に今から100年くらい前に起こったパンデミックでありまして、当時の世界の人口が18億人くらいなんです。それで患者の方が5億人くらい、亡くなった方が5000万人から1億人とされているんです。当時、第一次世界大戦の末期に起こったものですね。それで第一次世界対戦で亡くなった方が約1000万人くらいなので、このスペイン風邪

によって亡くなった方が5000万人ということは、その5倍から10倍くらいの方がこのスペイン風邪によって亡くなってしまったと。これは第1波、第2波、第3波が2~3年に渡って起こったんですが、日本の場合は、当時日本の人口が5500万人くらいで、その中で2380万人くらいの方がこのスペイン風邪に罹ったということでもありますから。ですから、約半分くらいの方が罹ってしまったと。第1波の場合は2100万人くらいで亡くなった方は257000人。第2波が240万人くらいで127000人くらいの方が亡くなったと。それから、第3波が22万4千人でこれは3600人くらいで、だんだんウイルスというかそれが弱毒化してきて、第3波ではほとんど大丈夫だったという感じでありました。このスペイン風邪に対しての時代的背景と書いてありましたが、これは第一次世界大戦が勃発して4年ぐらい経って、この第一次世界大戦の末期に起こったわけですね。第一次世界大戦というのは、その当時いろいろ植民地政策とか、あるいは不景気で生産過剰になって覇権争いになって、その当時はドイツとオーストリア、ブルガリアなんていう同盟国と、これはちょっと不思議なんです、イギリスとフランス、ロシア、日本、アメリカ、これが連合を組んで第一次世界大戦というのは戦ったようなんです。ですから、ここにロシアはこちら良い方というんですか、西側の方に入っていたという感じ。このスペイン風邪は末期の頃に起こったわけですが、唯一ここに参戦してなかったのがスペインだったんですね。それで、他の国はこの戦争の士気が下がるということ、これを内密にしてたんですね。ところが、スペインは中立国でこの第一次世界大戦に参加してなかったものだから、スペインが明細に公表したのでスペイン風邪という名前になったわけ。ところが、原因はアメリカの兵隊がアメリカのほうで集団感染して、それをヨーロッパに持ち込んで世界中に広まったという感じ。名前がスペイン風邪ですが、発祥の地はスペインじゃなかったという感じ。一説によりますと、この大流行によって多くの戦争に行く成人が亡くなりまして、兵隊さんが亡くなったので戦争が終わるのが早まったんじゃないかと言われております。まさに、今のロシアとウクライナの紛争はオミクロン株の真ん中に起こった戦争であります、西側と東側の戦いですが、奇しくも100年前のスペイン風邪は、やっぱり大戦は連合国と連盟を組んでいるところの戦いなので、一番心配されるのはこのまま突き進みますと、非常に泥沼化しております。プチャで大量虐殺があったとか、そういったことで核戦争になって第三次世界大戦まで奇しくも進まないように祈るばかりでございますね。なんか100年前のパンデミックと今のパンデミックとは、やっぱりちょっとこの時期は違いますが似てるような気がしまして、ちょっと心配事ではありますね。

これは当時のスペイン風邪の時の日本のポスターなんです、やってる事は今と同じでございます、「近寄るな、咳をする人に」「鼻口を覆え、他の人のためにも身のためにも」「予防注射を転ばぬ先に」「うがいせよ、朝な夕な

当時のポスター



に」ということです。二番目はちょっと見づらいですけど「病人はなるべく別の部屋に」。それから、この左側のポスターは「マスクをかけぬ命知らず」。上のほうが「恐るべし流行り風邪のばい菌」ということで、この当時スペイン風邪の当時から初めてマスクが出来てきたというように感じ。やってる対策は今のオミクロン株の対策と大して変わらないという感じで、100年前からこういう感じでございます。

伝染病の治療と防護の歴史



次の画像は、左側がペストの時のマスクでありまして、マスクといいますが何ですか、病人に触らないように杖を持って、それからメガネと尖ったマスクみたいな感じのをやっております、あとロングコートを着ているという感じ。二番目は真ん中ですね、これは上からモブキャップというのをやっております、ここで初めてガーゼマスクとか出来たそうです。それから、ロングガウン、白衣みたいなガウンですね。そういったものを着ているという感じ。このスペイン風邪の時代は、治療法がなんにもわかりませんし、ウイルスだということもわかりませんでしたので、こういった対策だけで乗り切ったという感じ。それから三番目、こちらの右側のほうは最近の新型コロナウイルスでありまして、医療用のマスクから今はもうマスクはすごいですね。不織布マスクとかウレタンマスクとか、様々なマスクが出てマスク専門店というのができておまして非常に多彩でございます。あと、手袋、エプロン、消毒薬という、現代は防衛策は万全なのかと思いますが、なんせこの感染力が強いのでなかなか収まらないということ。そんなわけで皆さん本当これからウクライナ問題も大変ですが、こちらのほうもまだまだ収まりきれないので感染症予防には気をつけて、いつ終わるかわかりませんがもうすぐ弱毒化して終わるんじゃないかなと希望を持っておりますので、感染に気をつけて頑張ってくださいと思います。ありがとうございました。